

2009年1月10日 ここでは今後装着予定のパーツを掲載した。



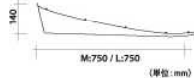
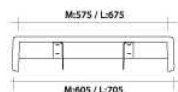
言わずと知れたエナペタル製のBILSTEINである。純正タイプのPREMIUM ORDER LINEというシリーズ。やはり私にとってBILSTEINは欠くことの出来ないPARTSだ。



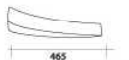
CARBON PARTSで定評のVARIS製リアディフューザーとボルテックスジェネレーターという空力PARTSである。是非装着したい一品だ。



汎用リアディフューザー (カーボン)
M= SIZE:W605mm ¥61,950(¥59,000)
L= SIZE:W705mm ¥65,100(¥62,000)
ボディー下面に流れる空気をディフューザーにより後方へ強引に引き抜きやす。



(単位:mm)



(単位:mm)



汎用ボルテックスジェネレーター (カーボン)
¥65,100(¥62,000)

リアホイールハウスの後方に発生する乱流を渦にし、車両後方へ排出。これによりリアのドラッグを軽減させます。

車種別専用ステー、随時開発中！！



LANDER EVOLUTION 7 GT-A&8MR 専用取付けステー IMPREZA GDB(F) 専用取付けステー

STI Performance

MENU



究極へのこだわり。 Advanced seat S203

RECARO

RECARO SEAT

人とクルマを一体化する、専用RECARO。

人とクルマの最大のインターフェイスは、やはりシートだ。S204に乗り込んだら、まずSTIとRECARO社が共同開発で造りあげたフロントバケットシートの座り心地を確かめてみよう。
ドライカーボン製シェルをダークグレーのアルカンターラ*と本革で覆ったこのシートは、デザインといい、質感といい、充分に目を愉しませてくれるが、シートはやはり身体で感じなければ意味がない。サイド部に使用した適度に馴染む本革のおかげで思いのほか乗り込みやすい。リクライニングでポジションを合わせ、シートベルトを締める。身体が包み込まれるような感覚。身体全体の体圧を均一に受けとめ、どこにも無理がからないのだ。走り始めると、このフィット感の意味が

STI Performance



はじまりはシートへのこだわりだった。シートひとつでドライビングの質が変わってしまうことを私たちはWRCで経験している。ドライビングポジションが動かないこと。それはどのような状況においても視線が安定していて、しかも自由な操作性が確保できるということだ。そして疲れにくいこと。ドライバーをただシートに縛り付けていけば良いというものではない。究極のシートをつくったら走りはどう変わるのだろうか？という想いがあった。そこでRECARO社と共同でS203のための専用シートの開発へ取り組んだ。軽質なドライカーボン素材をベースにカラダをしっかりと包みこむホールド性とリクライニング機構によるかつてない快適性を実現。そして表皮を上質なアルカンターラ*で覆った次世代のバケットシートが完成した。シートに座った瞬間からドライビングの感動が始まる。

*アルカンターラは東レ株式会社のスエード調人工皮革です。



This seat is an exclusive seat produced by the collaboration between STI and RECARO



SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R



2009年3月27日 明日注文しておいた、VARISのカーボン製リアディフューザーと、l'aun sportのWRC CUSTOMスピントーンングリップ+ノブ、フロントピンクオーナメントが届く。カーボン製リアディフューザーはGDB専用取り付けステーが付属されたキットだが、たぶんマフラーが干渉すると思われるので若干の加工(干渉部分の切除)が必要になるだろう。その際の加工の程度は現物を合わせてみないと判らない。あまり加工しない方がいいに決まっているのだが。また、切り口の処理はバリが気にならないよう、サンドペーパーでしっかりと磨いて、出来ればカーボン用クリアレジがあるの、長い目で見て、補強のためにも施工しておいたほうがいいだろうと考えている。

WRC CUSTOMスピントーンングリップ+ノブは、l'aun sportに問い合わせたところ、涙目以降のGDBなら何とかDIY出来るそうだ。純正のノブはペンチで引き抜き、グリップは引き抜くのは困難なので、カッターナイフ等で切り裂いて取り外すそうだ。ちょっと勿体ない気もするが、外れなければ仕方がない。

また、フロントピンクオーナメントは、いつやったのか判らないが、丁度、

六連星の大きい星のあたりに飛び石を食らったらしく、かなり大きなキズ(クラックが入っている)が付いていたので、新品と交換することにした。

こちらが、一番簡単な作業なので、こちらからまず取り掛かるとしよう。何れの作業も大がかりなものではないがディフューザーの取付は大和石油でリフトに乗せ



WRC CUSTOMスピントーンングリップ+ノブ



て行った方が作業効率も違ってくるので、そうするつもりだ。他の作業については自宅でも可能だが、ついでということもあるので、WRC CUSTOMスピントーンングリップ+ノブについては、大和石油で作業しようと考えている。ピンクオーナメント交換は、自宅で作業するつもりだ。もっともこちらの作業はいつでも出来るので、後回しにしてもいいと考えている。

やはり、もし加工が必要になった場合は、ディフューザーの取付が一番やっかいになるだろうし、スピントーンングリップの取り付けの方は

純正の取り外しが容易に出来れば、ほとんど問題ないだろうと考えているが、もしも装着中に何か問題が生じた場合は、l'aun sportに直接問い合わせる必要も出てくるので、VARISとl'aun sportの連絡先は忘れないように注意したいと思う。いよいよ明日全てのパーツが揃うのだが、特にリアディフューザーとWRC CUSTOMスピントーンングリップ+ノブは、現物を見るのがとても楽しみである。

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R



丁寧な梱包



裏面は無塗装



裏面にはVARISのマークが

VARIS
look into the future technology

2009年3月23日 本日到着したもう一つの荷物は、VARISに注文していたカーボン製リアディフューザーである。純正ディフューザーと比べるとかなり大きなサイズだが、カーボン製なのでそれほど重くはない。丁寧な梱包を解いて中から出てきたのは、仕上がりの美しいディフューザー本体と、GDB専用取り付けステーと取り付け説明書、そして別に注文しておいたステッカーが2枚である。ディフューザー本体を撮影がてら具に見てみると、定評通り丹念な造りと、丁寧な仕上がりであることがよく判った。実際に取り付けてみなければ判らないが、もしもマフラーに干渉することが判れば、一部削らなければならないので残念だ。



お馴染みのステッカー



光沢が美しい表面の仕上げ



効果が期待できそうなフォルム



コーナーの処理も美しい



専用ステーと説明書

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

CARBON REAR DIFFUSER



純正リアディフューザー



VARIS
look into the future technology

ちょっと勿体ないが大胆にカット！



干渉部分を切断したCARBON REAR DIFFUSER

れと、もう一つ問題があって、そちらもホームセンターで買って解決した。もう一つとは、説明書通りだと、ステーの車体への取付は純正ボルトを流用することになっているのだが、形状が純正リアディフューザー取り付け専用で、結局これも使えなかったのだ。同サイズの通常のボルトも4本買い求めて大和石油に戻った。買ったL字ステーはLの一方が今度は長すぎて、そのままではダメなので切り取って短くした。切り口はそのままだと錆びてくるので、持参してきたクリアラッカーをスプレーした。

前側のステーは問題なし

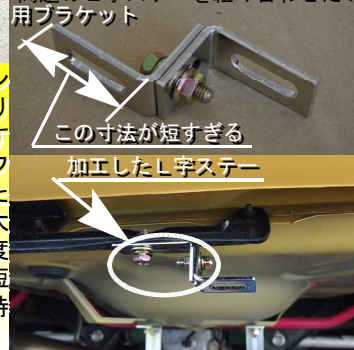


ギリギリマフラーを避けて上手に付いている



真横から見るとこうなっている

2009年3月30日 本日も朝から快晴で、先日届いたVARISのCARBON REAR DIFFUSERの取付のために、午前9:30にいつもお世話になっている大和石油を訪れた。さっそくリフトを借りて車を上げ、純正リアディフューザーを取り外した。大体の取り付け位置にCARBON REAR DIFFUSERを当ててみる。やはりマフラーが干渉して、そのままでは付きそうにないのが判り、干渉部分に大体見当を付けてマーキングをし、切除加工に取り掛かった。マーキングを頼りに、以前大森メーター製機械式Boost計のメーターフードを製作したとき、CARBON PIPEを切断するのに、見事な切れ味を見せてくれたBACO製の金ノコを持参してきたので、その金ノコで大雑把に干渉部分を切り取った。このときほとんど切り口にバリを残さずサクサクと気持ちいいくらい切れた。実に能率的だ。その後は時々取り付け部にDIFFUSERを当てがって、干渉の具合を確かめながら、金ヤスリで少しずつ慎重に切除部分を修正していった。何とか作業が完了したので、試しにDIFFUSERに付属していたGDB専用取り付けステーを仮付けして、DIFFUSERを仮留めしてみたら、何と後ろ側のL字ステーの寸法が少し短くて、どうやってもDIFFUSERの取り付け穴に届かないことが判明。仕方がないので、作業を一旦中断して、ホームセンターに行き、適当なL字ステーがないか探した。何とかもう少しサイズの長いL字ステーを見つけたのでそれを2本買った。その問題のL字ステーを組み合わせた専用ステーの加工でやっとDIFFUSERの取り付けが可能となった。



この寸法が短すぎる
加工したL字ステー

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R



デフケースを目安にセンターをチェック



突出した部分の幅が左右均等になっていることを確認

2009年3月30日 本日は1日中良い天気、仕事で忙しい中、大和石油のリフトをお借りして、VARIS CARBON REAR DIFFUSERの取り付けはいよいよ終盤を迎えた。REAR DIFFUSERを車体に取り付ける作業は一人では困難で、結局、仙吉さんに手伝って頂くことになった。一通り取り付け作業をした後に、色々な角度からREAR DIFFUSERの位置決めをして、真っ直ぐになったところで、各ステーの取り付けボルトの本締めを行った。最後に位置をもう一度チェックして問題がないか確認し作業は終了！午前中に始めた取り付け作業が終了したのは、なんと午後の3時半だった。やはりCARBON REAR DIFFUSER本体の加工と、取り付けステーの問題に長く時間が掛かってしまった。それにしても、GDB専用取り付けステーと謳っているのに、使えないパーツがあったのは残念でなかった。



取付が終了して、あらためて後ろから眺めると、その存在感と迫力は抜群だ



VARIS CARBON REAR DIFFUSER

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

内津峠SA (中央高速)



随分久しぶりだ

東郷SA (東名高速)



内津峠SA



2009年4月2日 今日は天気も良く、午後から久しぶりに高速マル秘クルージングに出掛けた。VARIS製CABON REAR DIFFUSERを取り付けてから初めて高速を走った。また、高速道路料金が、昨日から一律1,000円になったので、そうになったらETCではどうなるのかも気になった。みえ川越ICに入って伊勢湾岸自動車道→東海環状自動車道→中央高速→東名高速→伊勢湾岸自動車道→四日市東IC。

東郷SA



内津峠SA



東郷SA

